



錦織
美美
さん
ナナイロ

自然の中でのびのび仕事

コンピューターグラフィックスで広告映像を制作する(株)ナナイロ(大阪市北区)の島根オフィス(島根県斐川町坂田)で、ラベルやチラシなど紙媒体のデザイン作業を担当する錦織美美さん(25)は「島根の自然の中でのびのびと仕事ができる」と職場環境に満足している。

高校卒業後、デザインの専門学校に通い、フリーデザイナーとして活動の後、入社した。大阪本社時代には斐川町産のハトムギ茶のパッケージデザインなどを手掛けた。

5月に設立したばかりの島根オフィスではデザイン業務の傍ら営業にも携わっている。「お客さまとコミュニケーションをしっかり図ってニーズを把握し、商品の魅力を引き出せるようデザインを心掛けている」と話し、目を輝かせる。

最新のトレンド情報が地方に伝わるのは遅いと言われるが、「都会のトレンドを追うのではなく、島根からトレンドを発信したい」。

ブログ開設し情報交換

池田自転車店(島根県隠岐の島町西町)は2年前にブログ「茶輪拠屋(ちゃりんこや)」を立ち上げ、店の様子や各種イベント、顧客から寄せられたツーリング情報などを掲載。島外からもアクセスがあり、池田富穂店長(48)は「ブログと言うより、顧客や自転車に関心がある人たちによる掲示板に近い。大事な情報交換ツールになっている」と、インターネットを使った情報発信に力を入れる。

かつてはバイクが店の主力商品だったが、近年は環境への配慮や健康志向の高まりなどで自転車が売り上げの中心。特にロードバイクやクロスバイクといったスポーツ自転車が人気。「良いものを長く乗り続けたい、という顧客に対応した商品とアフターサービスに重点を置く」とともに、スポーツ自転車を初めて購入する相談にも親身になって対応。

店内には、愛好家らが気軽に集えるよう茶話スペースも設置。地元客はもとより転勤族も多く訪れ、コーヒーを飲みながら自転車談議に花を咲かせる。「お客様がゆったりと自転車の魅力を楽しめる店づくりを今後も続けていきたい」

池田
自転車店

富穂
さん



端本
聰子
さん
和田珍味

若い人がフグを味わって

(株)和田珍味(大田市五十鈴町)が今年2月に立ち上げた商品企画開発部の端本聰子さん(30)。第一弾商品の「ふぐの焼きほぐし」を発売し、早くも次の商品づくりに意欲をみせる。

大田市出身で、昨年7月に入社。直営店で販売を担当していたところ、新設部署のたった1人の専属スタッフに抜てきされた。大学時代に取得した食全般の専門職・フードスペシャリストと栄養士の資格を生かしてもらおうと、社内の期待は大きい。

フグが美容などに効果のあるコラーゲンを豊富に含むことに着目し、「スイーツに挑戦してみたい」と話す。同社の顧客は年配層が多く、「もっと若い人にフグのおいしさを味わってもらいたい」との思いからだ。フグの新しい食べ方の提案はもちろんのこと、添加物を使わないなど安全安心にもこだわる。「高級なイメージのあるフグをもっと身边に安心して食べもらうため」にアイデアを膨らませている。